

国際交流ニューズレター

No.42

特集：急成長を見せるBSAPの魅力！

BSAP (Business Study Abroad Programme) は経営学部が提携する海外大学への派遣留学プログラムで、正規カリキュラムに組み込まれています。1年間の留学で40単位程度が取得単位として認定されるため、留学期間を含め4年で卒業が可能です。

語学研修ではない？

BSAPは単なる語学研修ではなく、英語で経営学を学ぶことを目的としています。

派遣先は親日国家であり、穏やかな国民性と多民族国家ならではの国際性を誇るマレーシア。グローバルな人材が各国から集まるマレーシアでアジア新興国のダイナミズムを肌で感じ、国際感覚を修得し、長期的なキャリア形成を支援する留学プログラムです。多国籍の教員や学生が共通語としての英語を用いて学修に励む大学キャンパスは、グローバル人材に必須の資質である国際感覚を養うために最良の場といえます。学生寮での生活は、真の意味で異文化を理解するチャンスになるでしょう。緊急時には現地で日本語での対応もあり安心です。



費用は？

派遣先大学の授業料は神奈川大学経営学部が負担します。原則として派遣先の大学寮に入り、渡航費、寮費、食費を含めた1年間の滞在生活費用は個人負担となります。(マレーシアの物価は日本の約1/3といわれています。)

インターンシップも可能？

長期休みの際にはマレーシアでインターンシップを行うことも可能です。現地には東方政策元留学生同窓会 (Alumni Look East Policy Society : ALPS) のメンバーが日系企業から現地の企業まで幅広く受け入れ調整をしてくださいます。



BSAP募集・申込・派遣

BSAPの申し込みは経営学部の学生のみが対象となり、4月の前学期派遣、10月の後学期派遣の年2回に分かれ、それぞれ1年間マレーシアで勉強します。募集時期や説明会は派遣時期の約半年前から始まり、英語力だけでなく学業面、取り組み姿勢などを総合的に審査して選考します。説明会で申込用紙や必要書類を配布しますので、掲示などを随時チェックしてください。また平塚国際課では常時BSAPの相談にのっています。お気軽にお問い合わせください。

BSAP 留学体験者レポート①

経営学部 国際経営学科 2年 桑原 輝

BSAPの一員として選抜され、今年の4月からマレーシアのAIMST大学で留学をしています。マレーシアに留学することになった理由は、アジア+英語+経営学の3要素に魅力を感じたからです。

授業は朝8時から始まり、1コマ2時間の授業が1日2、3コマほどあります。教科によりますが、1科目週に3、4時間あり、1学期は全15週の3学期制です。授業以外の時間は、復習や課題を主にしています。週末は友達と大学近くのショッピングセンターで買い物や食事をしたり、大学のスポーツコンプレックスに行ったりしています。

当初、先生方や友達の英語を聞き取ることができず、かなり苦労しました。また、授業では専門用語が多く電子辞書で調べることの連続です。それでも、月日が経つごとに理解度が上がってきて、今ではそれほど不安はなく授業を受けられています。しかし、まだまだ英語力は未熟で特にグループワークのディスカッションやプレゼンテーションとなると事前準備がないと相当大変です。

生活面では、1年中夏という気候の違いや、基本的に辛い食事に慣れるのに時間がかかりました。また、マレーシアは多民族国家でマレー系、中国系、インド系の人々がお互いに尊重しながら生活しています。そのため、宗教、文化、言語、食事も異なり、日本人からすると非常に興味深いです。大学では、祝賀行事ごとにお休みがあり、学食では4種類の食事が給仕されている等、様々な配慮がされています。僕はイスラム教のラマダンにも挑戦しました。ラマダンとは、イスラム教の人が日

の出から日没まで一切の飲食物等を断たなければいけない期間のことです。僕は、友人や大学のスタッフの方の勧めで、28日間のうち14日間断食をしました。もちろん僕は初めての経験でしたので、水分不足から夕方になると軽い頭痛になり大変でしたが、人生でこれほどまでに食事のありがたさを感じたことはなかったので、食について考える良いきっかけになりました。また、大学構内のモスクを見学させてもらったりと、日本ではムスリムの方に会うことはなかなかないので貴重な体験となりました。

1学期の後、休みが2週間ほどあり、僕はマレーシアの企業でインターンにも挑戦しました。そこで、企業のマネージャーの方から多くレクチャーを受け、大学で学んだ経営学とリアルな経営が密接に繋がっていることに気づき、知識の質が深まりました。さらに、工場5日間ほど働き、マレーシアの製造業の現場を五感で体験できました。

最後に、今まで逃げることなく充実した留学を送れているのは、AIMST大学の学長を始め、スタッフの方、先生、友人のおかげです。僕がうまく英語で伝えられなくても理解するまで聞いてくれます。マレーシアの人たちはとても親切で穏やかな性格なので、生活しづらいと感じることは一切ありません。これからも僕の前には多くの壁があると思いますが、支えて下さっている皆さんへの感謝を忘れることなく、毎日を大事に過ごしていきたいです。来年の4月、胸を張って日本に帰れるように努力を続けていきたいと思っています。



中央が桑原君



右端が桑原くん

特集その2：英語力UP集中講座

このプログラムは、経営学部、理学部の学生が受講できます（2014年10月現在）。毎日5限目（16:50－18:20、10分休憩含む90分）で行われ、前期50回、後期50回の計100回のプログラムです。その他、週1回40分のチューターリングを実施し、各自の弱点補強に充てています。

中級レベルは主にSAプログラム、BSAP、交換留学、派遣語学研修に参加したい1、2年生対象に行われ、上級レベルはBSAPや交換留学帰国者、または同等レベルで英語をブラッシュアップしたい3、4年生対象となります。各レベルの受講者は15名となり、受講料は無料、テキスト代（約10,000円）のみで受講することができます。

本プログラムでは、グローバルリーダーとして、国際的な環境で活躍できる人材育成に向けて、正課授業の他で英語力を強化する語学講座を導入し、毎日少人数で十分な時間をかけて英語を学ぶことによって、ディベートや交渉力等のコミュニケーション力を習得することをめざしています。

また、講座での学習だけではなく、学生の自主的な学習活動を支援するために、前述のEnglish Loungeを開放的なパブリックゾーン（オープンスペース）として活用しながら、Loungeに紙コンテンツよりも検索やブラウジング機能の面で優れた電子書籍コンテンツの利用が可能となるICT機器を揃えてあります。これら機器を利用することにより、習得スキルを活かした学生自身による英語学習が可能な環境が整備されています。

このプログラムを実践することで、豊かな語学力やコミュニケーション能力をはじめとする「生きた英語力」や豊かな国際感覚が身につけられます。（2014年11月より横浜キャンパスでも開講されています。）

秋の留学生親睦研修旅行に参加しました！




経営学部 国際経営学科 4年 土橋 由梨

10月18、19日に行われた留学生親睦研修旅行に参加しました。

90名のうち、留学生が46名と多く、お互いの国の文化を知る良い機会となりました。この親睦研修旅行の特徴は、なるべく知らない人とも交流できるよう予め決められたグループに分かれて行動するようプログラムされていることです。そのため、1人で参加しても友達がすぐ出来やすい環境であり楽しく過ごすことができます。1日目は、相模湖プレジャーフォレストで各班に分かれBBQをし、協力しながら最後は楽しく食べました。その後は散策をし写真を撮ったり他のグループとも仲良くなるのが出来ました。宿舎に着いてからはディスカッションやゲームを通してコミュニケーションを図りました。一番印象に残ったのはディスカッションでカルチャーショックについて話し合ったことです。日本に来てから留学生が感じたカルチャーショックにはトイレトペーパーが柔らかいことや、丁寧なサービスが受けられることなどが挙げられ、日本の良さを改めて感じると同時に、各国の文化や環境を知ることができました。2日目はうちの柿渋塗りの体験やほうとうも食べ、最後に忍野八海を散策しました。今でも印象に残っていることは、留学生が、1年前にいた他の大学に比べ神奈川大学は非常に良い大学だと言っており満足していたことです。私も学生を大切にしている大学だと感じています。現在私は4年生でありこのイベントに参加する最後の機会だったため、参加できて良かったと思います。そしてこの旅行を通じて単なる言語のコミュニケーションよりも相手を受け入れる姿勢でコミュニケーションを図ることが重要だと学び、この経験を社会に出ても忘れず人と人との関係性を大切にしていきたいと思いました。



2015年度 第1期派遣交換留学生 合格者のみなさん

 韓国 慶南大学校 外国語学部 英語英文学科 2年次 李 愛玲	 オーストラリア タスマニア大学 外国語学部 国際交流学科 2年次 北口 由依	 ブラジル サンパウロ大学 歴史民俗資料科学研究科 歴史民俗資料学専攻 博士後期課程1年次 松下 里織
--	---	--

2014年度 国費留学生のみなさん

 中国 工学研究科 建築学専攻 張 楊	 Bangladesh 工学研究科 経営工学専攻 フセイン モハメド サザド
---	---

2014年度後学期 受入れ交換留学生のみなさん

 中国 国立台湾科技大学 彭 燕儀	 中国 上海師範大学 宋 君蕊	 中国 復旦大学 俞 雯艷	 中国 復旦大学 (大学院) 宋 旭
 デンマーク デンマーク王立芸術アカ デミー建築大学 (大学院) ステンベルグ ヨハン クリスチャン	 中国 清華大学 (大学院) 張 呈忠	 中国 清華大学 (大学院) 王 彬	 イタリア ヴェネツィア「カ・フォ スカリ」大学 (大学院) コンジュ サラ
 イタリア ヴェネツィア「カ・フォ スカリ」大学 (大学院) ナタレ ヴァレンティーナ	 韓国 建国大学校 権 大光	 ロシア 国立アストラハン大学 ガイネトジーノフ エリーナ	 ロシア 国立アストラハン大学 (大学院) サリエヴァ マクパール
 ロシア 国立アストラハン大学 カラームイシェワ マリーヤ	 台湾 国立台湾大学 謝 季唐	 台湾 国立台湾大学 (大学院) 藍 啓暉	 台湾 国立台湾大学 (大学院) 吳 秋燕
 オーストラリア タスマニア大学 ウイトン ステファニー アン	 中国 遼寧大学 応 宜娉	 ベトナム ベトナム国家大学 ハノイ校 グエン ロアン ティ タイン	 ベトナム ベトナム国家大学 ハノイ校 ホアン トゥイ ティ
 ベトナム ベトナム国家大学 ハノイ校 ヴー イエン ティ	 ベトナム ベトナム国家大学 ハノイ校 ファム ハー トゥ	 ドイツ デュースブルク エッセン大学 エネル ジャンス	 ドイツ デュースブルク エッセン大学 ケンプケン カタリン
 ドイツ デュースブルク エッセン大学 オバシェルブ ベンヤミ アレック ジョン	 フランス 国立モンペリエ 高等建築学校 (大学院) マドゥエーニョ ルーカス	 フランス 国立モンペリエ 高等建築学校 (大学院) ラコック ダヴィッド	 フランス ジャン・ムーラン・リヨン 第三大学 (大学院) バシヨネル ティポー ポール・トマ

INFORMATION

TOEFL-ITP実施

下記日程でTOEFL-ITP (団体向けテスト) を実施します。なお、原則として各所属キャンパスでの受験となっています。

- 2015年1月30日(金)・・・湘南ひらつかキャンパスで実施
- 2015年2月2日(月)・・・横浜キャンパスで実施

※ 上記の2日間は、いずれか1回のみ受験することが可能です。